

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5 年 3 月 1 日

事業所名 ゆめの園みらいず蓮根放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	5	3	・障害特性に合わせてグループ分けし、適宜部屋を分けたりして活動をおこなったりしています ・指導訓練室内に物をなるべくおかないようにしています	・仕切りカーテンを使用してカムダウンルームが作れるように改善していきます ・座席スペースが足りていないと感じる。→座る椅子の検討やグループ分けをし、スペースの確保をしています
	②	職員の配置数は適切である	7	6	5	活動に応じて、それぞれの特性や課題に合わせてグルーピングし担当職員数等工夫しています	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	4	6	建物の作り状バリアフリーになっていないところもあるが、後付けのスロープ等を使用し基本的には活動に支障がでないよう工夫しています	・バリアフリー化されていない場所もある。出入口の段差やトイレが狭い事や、玄関前の道の整備等について、今後工事等も視野に入れながら検討していきます
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	12	1		常勤職員だけでなく、いろんな役割の職員が参加できるよう、申し送りや会議の時間設定等を工夫していきます
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	7	2	アンケート調査後に職員に周知し、保護者様からの意向や改善が必要な箇所を話し合っております	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	6	3	法人HPに公表しています	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	13	3		今後の検討課題
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	7	1		外部の研修に積極的に参加し、受講したものが改めて内部研修を行えるよう取り組んでいきます
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	10	1		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	12	2		支援を日常的に支援者間で話し、アセスメントにも反映していく。アセスメントツールのみなおしの検討をしていきます
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	8	1	全職員間で意見を出し合いながら活動を決定しております。	立案後、プログラムの準備実行までの間で職員間の共有が足りない時がある為、視覚的に残るような工夫等、職員感の情報共有を徹底して行きます
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	8	1	全職員間で意見を出し合いながら活動を決定しております。同じ曜日で偏らないようプログラムをたてております。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	11	2	平日と休日では取り組む課題を変え、活動内容も考えております。	課題設定を現状より具体的にし、職員間で共有していきます

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改 善内容又は改善目標	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と 集団活動を適宜組み合わせる放課 後等デイサービス計画を作成してい る	6	8	4		状況に応じて、個別と集団の活動 を提供しております。来園する曜日 によっては偏りが出てしまう方もい るので必要に応じて提供できるように 致します。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合 せをし、その日行われた支援の内容 や役割分担について確認している	11	6	1	朝礼時に職員間でその日の活 動内容やどのような役割で行っ ていくかを確認しています	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打 合せをし、その日行われた支援の振 り返りを行い、気付いた点等を共有 している	17	1	0	終礼時や、記録を通じて支援の 振り返りを行い、申し送りノート 等を使用して職員間の共有をし ています	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をと ることを徹底し、支援の検証・改善 につなげている	12	5	1	日々の支援の記録をとり、全体 で共有を行っています	起きた状況、支援の結果等に対し 「もう1歩」踏み込んだ支援の検証・ 改善につなげていく。必要に応じて 会議等を行っていきます
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後 等 デイサービス計画の見直しの必要 性を判断している	6	10	2		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複 数組み合わせる支援を行っている	6	12	1		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス 担当者会議にその子どもの状況に 精通した最もふさわしい者が参画 している	9	9	0		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行 事予定等の交換、子どもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎 時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っている	13	4	1	ご家族様より、学校から配布さ れるお手紙等を頂き確認等して います。トラブル等に対する方法 についても職員間で周知してお ります。	職員間の周知はしていますが、マ ニユアルの作成等までは至ってい ない為、今後必要なものに対しては 作成を検討し取り組んでいく
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け 入れる場合は、子どもの主治医等と連 絡体制を整えている	2	12	4		現在医療的ケア対象児童様が いない為連絡体制はまだ整ってい ない状況
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼 稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相 互理解に努めている	6	9	3		ご家族様に同意を得たうえで、就 学前に利用していた頃の情報共 有を行っていくよう検討していき ます
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサー ビス事業所から障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの 支援内容等の情報を提供する等し ている	8	9	1	必要に応じて、情報共有を行っ ております。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害 者支援センター等の専門機関と連 携し、助言や研修を受けている	7	7	4		外部の研修等に参加する機会が 減ってしまっているので、オンライン等 も視野に入れ外部研修調査し積 極的に参加していく事を検討してい く。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交 流や、障害のない子どもと活動する 機会がある	0	6	12		
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積 極的に参加している	5	10	3	協議会のメンバーとして参加し ている	協議会の内容等を事業所内でも 共有していく

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改 善内容又は改善目標
	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	14	4	0	送迎時の申し送りの際や連絡帳等でお伝えしております	今後はどの職員でも同じような記載やお伝えが出来るような仕組みを今後は検討していきます
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	11	4		
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	9	0	引き続き、契約時や変更があった際には随時ご説明をまいります。	
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	8	0	必要に応じて連絡帳や面談、送迎時の引き渡しの際等にやり取りを行っています	
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	9	8		
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	14	4	0	迅速かつ適切に事実の状況確認を行い、今後の対策等検討し対応しております	
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	5	1	SNSや広報誌等を用いて定期的に活動の様子や活動予定等を公表しています	
	㉗	個人情報に十分注意している	16	2	0		
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14	4	0	お子様やご家族様が伝達しやすいよう様々な手段での情報共有ができるようにしています	・活動中などで意思決定の場面を増やし、子どもたちが伝えやすいよう環境づくりをしています。また、子どもたちが分かりやすいように掲示物などで情報を視覚化出来るよう検討していきます。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	10	5		コロナの状況も踏まえ、今後どのように地域の方とのかかわりを持っていくかを検討していきます
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11	7	0	マニュアル等作成をしています。定期的に見直しをし改善していきたいと思っております。	保護者様にも定期的に周知していきたいよう検討していきます
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	8	2	年2回避難訓練を行っております。お子様だけでなく、職員の訓練等も取り組んでおります。	
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	14	4	0	年2回、外部研修や内部研修を通じて全職員が参加できるよう取り組んでいます。	
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	12	0		身体拘束を基本的に行っておりません。対象児童様もおりませんが、現状、予測される事柄を決定してはおりません。今後もしやむを得ず身体拘束をせざるを得ない状況がある場合はご本人・ご家族様に十分な説明をし、計画書等に反映していきます

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	7	0	・利用者アレルギー表を作成し、職員間情報共有を行っています	
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	15	3	0	朝礼、終礼などで申し送りノートに記載し、共有しています	些細なことでも事例としてあげ、状況分析し、今後の対応を検討していきます

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 5 年 3 月 1 日

事業所名 ゆめの園みらいず蓮根放課後等デイサービス 保護者等数(児童数) 87 回収数 47 割合 54.0 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	33	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達が揃っているのを見てないので分かりません ・実際の活動の様子などを見ていないので何とも言えない ・最大の定員の時に様子を見たことがないのでわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法定基準に沿ったスペースは確保しております。活動に合わせたスペースの確保等引き続き工夫しながら取り組んでいきます。 また、コロナの現状も踏まえながら工夫し、見学の機会等設けられるよう検討していきたいと思います。
	②	職員の配置数や専門性は適切である	31	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動中の様子を見た事がないので配置数など分かりません ・活動の様子を見る機会が無いので、わからない。 ・専門性について、具体的な発信をこちらで確認できてない 	<ul style="list-style-type: none"> ・法定基準配置職員数は確保しております。活動に応じてできる範囲になります職員配置数の増をしたり調整しております。また、活動の様子が分かるよう、コロナの現状も踏まえながら見学の機会等設けていきたいと思います。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	29	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない ・拝見したことはありません ・建物の構造上仕方がない ・すみません…分かりません 	<ul style="list-style-type: none"> ・手すり等の設置等検討が必要なのところもあると思いますが、別途でスロープをつけたり状況に応じて使用できるような後付けの物を準備し対応しております。 ・直接事業所に来園し見学だけでなく動画や紙媒体等を使用して活動の様子を見れるような工夫を検討していきます。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	33	12	0	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない ・今年度は、まだ面談や話し合いなどを行っていないので、そのような計画が作成されているのかは分かりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談方法や時間・場所等やり方を今後検討していきながら、なるべく対面で行えるよう取り組んでまいります。また、客観的に分析ができていく等わかりやすく説明ができるよう説明の仕方等、検討しながら取り組んでまいります。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	42	12	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	14	22	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍なので無くても仕方ないと思う。 ・現状コロナがある中では難しいのではと思う ・特に必要を感じない ・分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状交流が出来ていない状況になります。今後、どのように地域の子たちと関わっていく機会をどのように作っていくか等検討していきたいと思います。
保護者へ	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	40	5	2		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	31	13	3		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	26	15	6		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	5	16	21	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナがあるので、難しいし良く分からない ・父母会があるのか、認識していない ・必要ないと思っています。 ・保護者同士の交流は特に必要を感じない 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、父母の会のような活動や保護者会等の開催は出来ていない状況になります。今後、どのように機会を作っていくか等検討していきたいと思います。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
の 説 明 等	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	30	13	3	・苦情を出した事がないので分かりません	・引き続き、何かお子・保護者様からの苦情等があった際は、状況把握とともに対応について検討しご説明をさせて頂けたらと思います。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	36	10	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	30	15	1	Twitterをフォローしましたが、他の事業所に比べてUPされる回数が少ない。	・Twitterのフォロー、活動報告等の確認をして頂きありがとうございます。紙媒体での活動報告とも一緒にTwitterのUP頻度等検討していきたいと思います。
	⑭	個人情報に十分注意している	42	5	0		
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	25	20	1	発信されているかもしれないが、確認不足。	各マニュアル等がわからなくならないよう、変更の有無にかかわらず、年に1回はご家族様に周知・説明をしていきたいと思っています。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	22	20	1	・分からない ・不明	・訓練の様子をTwitterやYouTubeへ投稿、また広報誌等にて活動報告をさせて頂きたく思います。 ・年に2回は、訓練を計画し実施致しております。
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	40	4	1	・分からない ・不明	・ご家族様がお子様の通所時の様子が分かるような方法を検討していきます。また、活動等では反省会を設け楽しんで過ごしてもらえよう職員間で検討する機会を引き続き設け精進してまいります。
	⑱	事業所の支援に満足している	38	4	1	・外での活動(公園等)をしてほしい	活動内容ですが、コロナの状況も踏まえながら、お子様に人気の外での活動を増やしていけるよう今後検討し取り組んでまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等
デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。